

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和4年5月27日（金）10時00分～11時15分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

大辻室長補佐、松田室長補佐、高木係長、塩唐松係員、高木技術参与
澁谷企画調査官、木原室長補佐（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

高松原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当12名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
 - 1号機 PCV 内部調査の状況について
 - ✓ 機器ドレンサンプポンプ付近、PCV 底部、ペDESTAL 付近、ジェットデフレクター付近、PLR 配管及びペDESTAL 開口部における堆積物やペDESTAL 基礎部の現在の状況を確認したこと。
 - ✓ 熱中性子束を4カ所で測定したところ、ペDESTAL 開口部付近で多く確認されていることから、燃料デブリ由来と推定したこと。
 - ✓ 今後、堆積物の高さと厚さを確認した上で、堆積物の燃料デブリ含有状況を調査する予定であること。
 - 6号機 HPCS D/G 排気管除却工事
 - ✓ 腐食劣化により排気管が落下する可能性があるため、今後除却工事を行う予定。
 - 所内共通ディーゼル発電機空気だめ修理に伴う溶接検査確認事項の追加について
 - ✓ 現在の実施計画に溶接検査確認事項が記載されていないため、実施計画の記載の変更を行う予定。
 - 1号機及び2号機非常用ガス処理系配管一部撤去の対応状況について
 - ✓ モックアップの知見から、ウレタン注入口から左右約40cmの範囲にウレタンが充填されているとして切断したが、ウレタンの広がりが見込まれたよりも少なく、切断箇所がウレタン充填部から数cmずれてしまったと想定すること。
 - ✓ 残存配管（2号機側）にウレタン充填部があるため、ダスト飛散の恐れは少ないが、少量のダスト飛散に備え、飛散防止剤を既に塗布しており、今後、切断作業に時間を要する場合には切断面への閉止キャップを取付予定。
 - ✓ ウレタン充填時から時間が経過しているが、切断面の観察からウレタンの収縮等は起こっておらず十分に閉塞されていること。
 - ✓ 緊急対応時の作業員の被ばく線量は計画線量内で管理できたこと
 - ✓ 今回の切断配管の線量測定で得られた結果を踏まえ、作業員の防護措置

- を見直すこと。
- ✓ 切断配管は細断し、測定線量が高かったβ線対策のためゴムシートで養生したうえでコンテナに詰め、固体廃棄物貯蔵庫第9棟の地下に輸送し保管したこと。
- 工程表（循環注水冷却、使用済燃料プール対策、燃料デブリ取り出し準備）について
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を行った。
 - 1号機 PCV 内部調査の状況について
 - ✓ 今回の調査を踏まえたペDESTAL部の耐震性評価について、現状できる範囲の評価を速やかに実施すること。
 - 6号機 HPCS D/G 排気管除却工事
 - ✓ 類似の切断作業における福島第一発電所全体の計画スケジュールがあるのならば、示すこと。

6. その他

資料：

- 1号機 PCV 内部調査の状況について
- 6号機 HPCS D/G 排気管除却工事
- 所内共通ディーゼル発電機空気だめ修理に伴う溶接検査確認事項の追加について
- 1号機及び2号機非常用ガス処理系配管一部撤去の対応状況について
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール

以上